



消防団に入団しませんか？

消防団は、地域の安全・安心や防災の要として欠かすことのできない存在です。しかしながら、生活様式の変化などから、地域によっては新たな消防団員の確保が難しくなっています。

地域に最も密着した防災組織である消防団に、入団してみませんか？

<彦根市消防団任用資格> (次の全ての項目に該当する人)

- ①市内在住・在学・在勤 ②18歳以上 ③団の職務の遂行に堪え得る心身を有する

女性消防団員も募集しています！

災害への対応はもとより、広報活動、予防指導、災害時要援護者対策などの部門で、その能力を發揮してみませんか？ (現在12人で活動)

※市の女性消防団員 (ヒコネサンフラワーズ) は県下で最も古く、昭和63年に女性としての視点を生かした活動と消防団の活性化を図るため採用されました。



消防団協力事業所表示制度

「消防団協力事業所表示証」を交付し、地域での当該事業所の社会貢献を広く広報し、地域住民や他の事業所からの理解を一層深め、消防団員の入団促進を図るための制度です。

事業所のイメージアップのためにも、本制度をご利用ください。

【交付の対象】消防団に入団している従業員が2人以上いる事業所や消防団の訓練場所、災害の発生時に事業所の資機材を提供するなど彦根市消防団に積極的に協力している事業所 など

5月16日(日)まで 「国宝・彦根屏風」 近世初期風俗画の傑作、国宝・彦根屏風を特別公開します。



▲風俗図 (彦根屏風)

6月14日(月)まで ※6月8日(火)は休館 資料調査事業完了記念 「井伊家と近代彦根 - 井伊家近代文書調査の成果より -」

学校設立への資金協力など、大名から華族となった近代の井伊家が東京を本拠とした後に行った、彦根での諸活動を紹介いたします。



▲直忠公御帰館日記

5月19日(水)~6月15日(火)まで ※6月8日(火)は休館 「花々の意匠 - 四季を彩る -」

古来、花は人々に愛され、その姿はさまざまなデザインに取り入れられてきました。本展では、梅や桜、蓮、菊など、四季折々の花をあしらった美術工芸品を紹介します。



▲桜花透文釣燈籠



▲四季花鳥図御簾屏風 (部分)

■スライドトーク 5月22日(土) 14:00~14:30 解説:当館学芸員 場所:講堂 当日受付 (先着35人) ※無料 (観覧料は別途必要)

■5月17日(月)・同18日(火)は、展示替えのため一部休室します。

チケット情報

ひこね市文化プラザ

5月26日(水) 19:00 / 5月27日(木) 16:00 グランドホール

T.M.R. LIVE REVOLUTION'21 -VOTE-

指定 彦根市民先行・友の会 9,000円 彦根市民先行 [5月2日(日) 9:00 ~ 5月5日(水・祝) 19:00] 友の会 [5月8日(土) 9:00 ~ 5月12日(水) 19:00 (休館日を除く)]

※ひこね市文化プラザでは彦根市民先行・友の会の発売のみ。一般発売は行いません。一般発売は5月15日(土)から、チラシ・ポスターにある専用サイトより、各自お申し込みください。

7月23日(金・祝) 18:30 グランドホール

『劇団四季 The Bridge ~歌の架け橋~』

指定 [5月16日(日) 9:00 ~ 予約開始] ひこね市文化プラザ友の会 S席 9,000円 A席 6,600円 B席 3,300円 [5月23日(日) 9:00 ~ 予約開始] 一般 S席 9,900円 A席 6,600円 B席 3,300円

小学生以上 託児あり(有料・要予約)

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00) チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

5月の休館日: 6日(水) 10日(日) 17日(日) 24日(日) 31日(日)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】 (T.M.R.を除く) ※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。 ※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

※彦根市民先行は、一部限定枚数での取扱いです。彦根市民先行・友の会ともに予定枚数に達し次第、販売を終了します。 ※チケットは1人2枚まで。席の指定はできません。チケットの発売は5月15日(土)以降となります。 ※チケットの購入は、ひこね市文化プラザチケットセンター電話 (☎27-5200) のみ。オンラインでの発売はありません。 ※彦根市民先行の支払いは窓口のみです。支払いの際、身分証の提示をお願いします。

みずほ文化センター

5月23日(日) 14:00 多目的ホール

彦根亭 みずほ寄席 Vol.38 卓円公演

自由 [好評発売中] 前売500円、当日600円 出演:笑福亭呂翔、笑福亭伯枝、にしね・ザ・タイガー、よふかしイエロー ※新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した座席配列で実施。

小学生以上 託児あり(有料・要予約)

申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)

5月の休館日: 4日(火・祝) 5日(水・祝) 6日(木) 11日(火) 18日(火) 25日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。 ◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。 子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】 ▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサボ滋賀」の表示の設置



▲月次茶器のうち 5月 橘に水鶏時絵茶器



▲月次茶器 (個人蔵)

この茶器は、鎌倉時代の歌人藤原定家が詠んだ和歌「詠花鳥和歌」にちなんで12ヶ月の花鳥を表した意匠であることから、「月次茶器」と呼ばれてきました。 定家の「詠花鳥和歌」は、建保2年(1211)4月に後醍醐天皇の命で、12ヶ月の花鳥の和歌の絵を描いた

古来、花の姿は人々に愛され、絵画などの美術工芸品はもとより、衣服や調度など、ありとあらゆる身の回りの品のデザインに取り入れられてきました。 写真の作品も、四季折々の花を鳥とともに表した優美な品です。茶の湯で用いる抹茶の粉を入れるための薄茶器と呼ばれる蓋付きの器で、大名茶人としても名高い井伊家13代直弼が、千家十職の一家として知られる塗師、8代中村宗哲に、12合一揃いで制作させたと伝えられています。

この作品は、テーマ展「花々の意匠 - 四季折々の名花や名鳥です。例えば5月は、「郭公なくや五月の宿がほ(顔)にかならず匂ふ軒のたち花(橋)と」と、「真木の戸をたたく水鶏の曙に人やあやめの軒の移香」を表した意匠。優しく甘い香りの橋と存在感あふれる姿が美しい菖蒲、そして水に遊ぶ水鶏が、優美な筆づかいで描かれ、典雅な和歌の世界を垣間見ることが出来ます。 花々は、様々な歌や物語で取り上げられることで、単なる植物という範疇を超えて、四季のうつろいはもちろん、愛や美、悲しみ、吉凶などのさまざまな事柄を象徴する存在ともなりました。この茶器にも、長い歴史の中で育まれた「花」の奥行き深い世界の反映を見ることが出来るのです。 【彦根城博物館学芸員 奥田晶子】

月に詠まれた歌です。いわば絵画化することを前提に作られた歌ですが、実際に絵が作られたか否かや、作られたとしてもどのような絵であったかは分かりません。しかしその後、狩野派の絵師狩野探幽や京焼の陶工尾形乾山など、特に江戸時代以降に、多くの名工がこの歌を典拠として制作を行ってきました。月次茶器もその伝統に連なる作品といえるでしょう。 この作品に表されているのは、四季折々の名花や名鳥です。例えば5月は、「郭公なくや五月の宿がほ(顔)にかならず匂ふ軒のたち花(橋)と」と、「真木の戸をたたく水鶏の曙に人やあやめの軒の移香」を表した意匠。優しく甘い香りの橋と存在感あふれる姿が美しい菖蒲、そして水に遊ぶ水鶏が、優美な筆づかいで描かれ、典雅な和歌の世界を垣間見ることが出来ます。

月次茶器(四季折々の花を愛でる)

とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ